

# 富山アラート発令中！ 新型コロナウイルス感染症

令和4年1月19日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

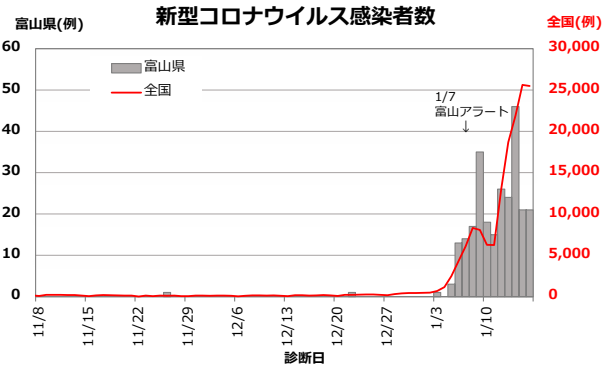
## 感染症発生動向速報

(令和4年第2週分・1月10日～1月16日)

### 《インフォメーション》

#### ●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、1月16日時点で1,879,839例となり、18,433例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数は1月上旬より急増し(図;折れ線グラフ)、1日2万人を超えました。感染拡大により医療提供体制のひっ迫が懸念されるため、1月21日から13都県にまん延防止等重点措置が適用される見込みです。県内では、今週171例の新規感染者が報告され、前週(83例)から2倍に増加しました(図;棒グラフ)。1月に入り、新規感染者数が急増したことから、県は1月7日に感染拡大警報(富山アラート)を発出しましたが、感染拡大が続いています。1月以降の新規感染者の大半を30代以下の若年者が占め、感染者の多くは急性上気道炎の症状を呈しています。



2021年11月に南アフリカで出現が報告されたオミクロン株は、国内では12月下旬から検出例が増加し、市中感染の拡大、デルタ株からの置き換わりが進行していると推定されています。オミクロン株の特徴は、デルタ株と比べて感染性が高く、mRNAワクチンの2回接種による発症予防効果が低下すると報告されています。しかし、同ワクチンの3回目接種(ブースター接種)によりオミクロン株に対する感染予防効果は高まるとされています。県内では、1月18日時点でゲノム解析によりオミクロン株感染者が33例確認されています。オミクロン株に対しても、感染拡大を防ぐための感染対策は手指消毒、正しいマスクの着用、十分な換気、対人距離を保つことが重要です。

発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。また、現在、ワクチン接種を受けられない方や感染の不安を抱える方などを対象にPCR等検査無料化事業が実施されています。詳しい内容は県HP(<https://www.pref.toyama.jp/1103/20211227pcr.html>)よりご確認下さい。

### 《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 171件
- 二類感染症 結核 2件 (①第1週診断分:80歳代、男性 ②80歳代、女性)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (第1週診断分:60歳代、女性、肺炎型)
- 五類感染症 急性脳炎 1件 (10歳未満、女性)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (60歳代、男性、A群)
- 梅毒 5件 (①第47週診断分:50歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期  
②③共に第1週診断分:男性 ②30歳代、早期顕症梅毒Ⅰ期 ③40歳代、早期顕症梅毒Ⅱ期  
④20歳代、女性、無症候 ⑤30歳代、女性、無症候)
- 播種性クリプトコックス症 1件 (70歳代、女性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	5.97 (↑)	5.66
2位	RSウイルス感染症	0.79 (↑)	0.31
3位	手足口病	0.69 (↓)	0.79
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.62 (↓)	0.69
5位	ヘルパンギーナ	0.48 (↑)	0.34
6位	咽頭結膜熱	0.45 (↓)	0.86

○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第2週 令和4年1月10日～令和4年1月16日）

分類	疾患	今週報告分（第2週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	6	18	63	13	66	5	171	12	23	94	17	102	6	254
二類感染症	結核			1				1			2		1		3
四類感染症	レジオネラ症								1		1				2
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症												1		1
	急性脳炎			1				1			1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1						1	1						1
	梅毒					2		2	1		1		2		4
	播種性クリプトコックス症					1		1					1		1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	RSウイルス感染症	1 0.25		10 1.25	5 1.25	7 0.70		23 0.79	3	1	11	5	12		32
	咽頭結膜熱	2 0.50		10 1.25		1 0.10		13 0.45	2	1	21	2	12		38
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 0.25		2 0.25	3 0.75	12 1.20		18 0.62	3		10	3	22		38
	感染性胃腸炎	23 5.75	42 14.00	44 5.50	25 6.25	39 3.90		173 5.97	42	70	92	43	90		337
	水痘			3 0.38		1 0.10		4 0.14			4		3		7
	手足口病		4 1.33	6 0.75		10 1.00		20 0.69		5	15	1	22		43
	突発性発しん			3 0.38	1 0.25	3 0.30		7 0.24	1		4	1	4		10
	ヘルパンギーナ	2 0.50	1 0.33	7 0.88		4 0.40		14 0.48	6	2	12		4		24
	流行性耳下腺炎				1 0.25			1 0.03	1			1			2
	流行性角結膜炎								1						1
	細菌性髄膜炎					1 1.00		1 0.20					1		1
	インフルエンザによる入院患者（※2）				1			1				2			2

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週(9月6日)～の集計です。

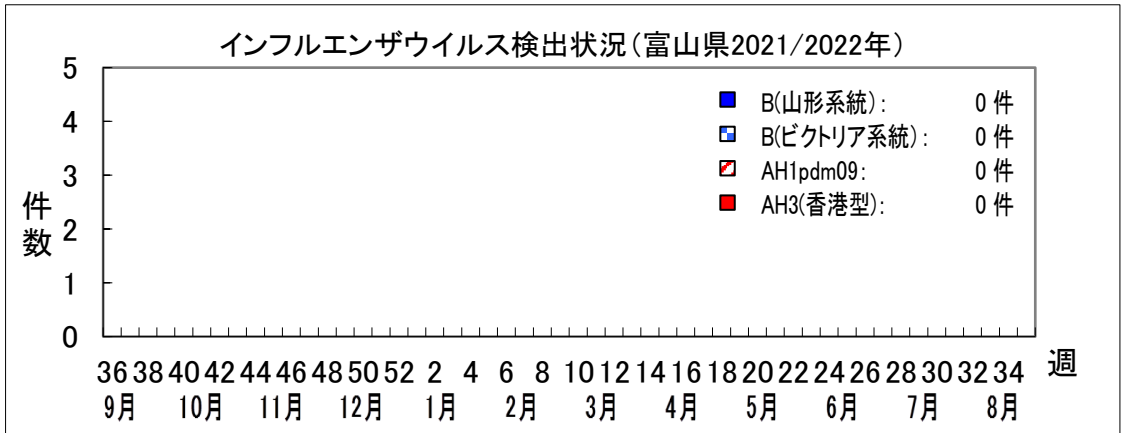
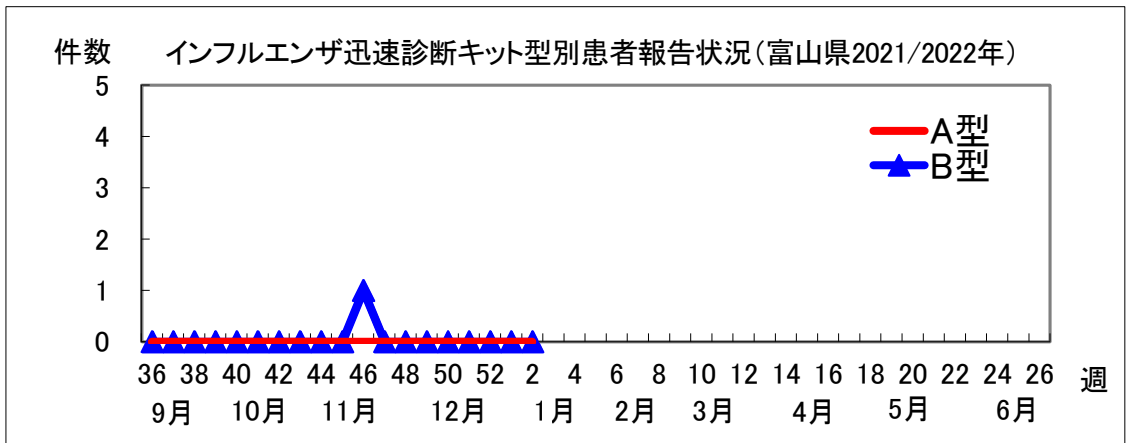
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

### 第2週(1/10~1/16)：富山県 0.00人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	0 / 13	0	0	0	0
砺波	0 / 7	0	0	0	0
富山市	0 / 16	0	0	0	0
富山県	0 / 48 <sup>※1</sup>	0	0	0	0
富山県累計(2021年36週~)		0	1	0	1

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が0か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



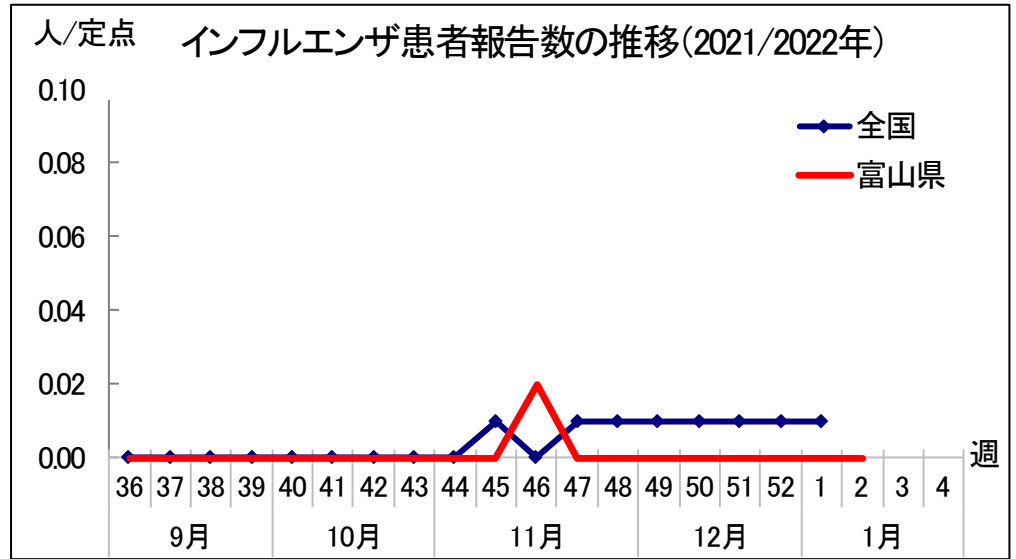


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第2週 (1/10~1/16) : 富山県 0.00 人/定点

新川 HC (0.00)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.00)、砺波 HC (0.00)、富山市 HC (0.00)

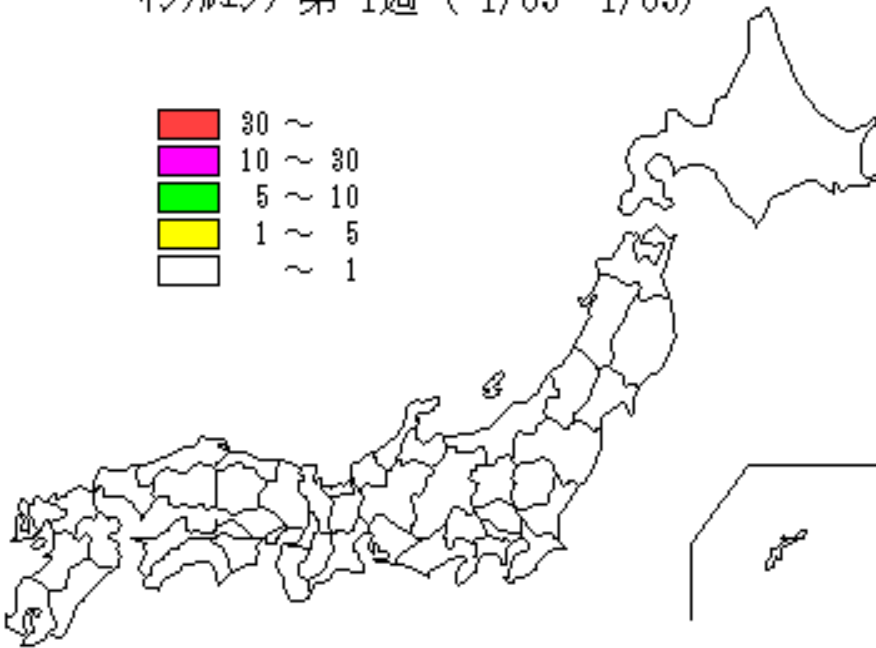
全国・富山県共にインフルエンザ患者報告数は少ない状態が続いています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第1週 (1/3~1/9)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.01 人です。

インフル第1週 (1/03- 1/09)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.00	滋賀県	0.00
青森県	0.00	京都府	0.03
岩手県	0.00	大阪府	0.01
宮城県	0.01	兵庫県	0.01
秋田県	0.02	奈良県	0.00
山形県	0.02	和歌山県	0.00
福島県	0.01	鳥取県	0.00
茨城県	0.01	島根県	0.00
栃木県	0.01	岡山県	0.04
群馬県	0.01	広島県	0.01
埼玉県	0.01	山口県	0.06
千葉県	0.01	徳島県	0.00
東京都	0.01	香川県	0.00
神奈川県	0.00	愛媛県	0.00
新潟県	0.00	高知県	0.07
富山県	0.00	福岡県	0.00
石川県	0.00	佐賀県	0.00
福井県	0.00	長崎県	0.01
山梨県	0.00	熊本県	0.01
長野県	0.00	大分県	0.00
岐阜県	0.02	宮崎県	0.00
静岡県	0.02	鹿児島県	0.03
愛知県	0.01	沖縄県	0.02
三重県	0.00	全国	0.01

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年12月分）

		12月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			2		9	11		4	18		94	116
				0.67		2.25	1.10						
	性器ヘルペスウイルス感染症		2	2	1	5	10		11	7	5	43	66
			2.00	0.67	1.00	1.25	1.00						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	尖圭コンジローマ										6	20	26
	淋菌感染症	1				4	5	2				28	30
		1.00				1.00	0.50						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1		2	2	4	9	9	13	30	19	60	131
		1.00		2.00	2.00	4.00	1.80						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1				2	3	4		16	1	3	24
		1.00				2.00	0.60						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。